



# Tridion®

企業ナレッジハブ



**対象者：**

知識主導型企业で、ビジネスに不可欠な大量の情報を管理する情報管理担当者。

## 企業情報： 適応性に優れ、コンテキストに応じており、見つけやすい

### このパンフレットの目的

ビジネスの成功は、意欲的で情報に精通した従業員にかかっています。ところが多い組織では、従業員が古いツールを使用して仕事をしており、その操作性は、業務外で私的に使用しているテクノロジーに劣ります。旧式のシステム、データの分断、手作業によるコピー＆ペースト、低機能の検索、繰り返し作業が日常業務の大半を占め、ストレスになっています。さらに不満を募らせる原因となっているのが、不十分な情報ガバナンスです。このため、検索できない情報や信頼できない情報が生まれています。

企業情報の一元化、連携の促進、ワークフローの自動化、コンテンツの構造化により、ビジネスをデジタル変革でき、生産性や従業員、パートナー、顧客の体験が向上して、AI 対応の準備を整えることができます。

#### 課題 - 「信頼できる唯一の情報源」がない

組織は、地域や部門、チームごとに分断された状態で運営されています。このような状況により、従業員は検索した情報が正しいか確信が持てずにいます。

このような情報への信頼の欠如は、信頼性の高い唯一の情報源がないことから生じる最大の課題です。不正確な情報が、従業員、顧客、パートナー、見込み客に悪影響を及ぼすからです。

#### 重要 - 集約と連携

分断を解消しても解決策にはなりません。必要なのは、分断された状態でも信頼できる情報にすることです。そのためには、情報源が複数のシステムにあるとしても、情報の作成、共同作業、承認、発行のプロセスを緊密に統合する必要があります。

ナレッジハブの構築が信頼の回復につながります。現在の業務を効率化するためにも、将来のユースケースに向けて準備を整えるためにも重要なことです。

#### ソリューション - 企業ナレッジハブ

ナレッジハブは、組織の知識の「信頼できる唯一の情報源」になるだけでなく、次世代イントラネット、対話型ユーザーインターフェイス、セルフサービス用バーチャルエージェントの基盤にもなります。

これにより、業務の効率化が実現するだけでなく、消費習慣や消費者行動などのパターンに関するインサイトを得て活用し、収益の増加も達成できます。

ビジネスに不可欠な情報に「信頼できる唯一の情報源」があれば、生産性の低下を防ぎ、顧客体験を向上させ、法的リスクを軽減することができます。

## 企業情報の課題



### 検索

**70%**

必要な情報を見つけられない従業員の割合

#### 課題

タグ付けされていないか、不適切にタグ付けされたコンテンツ。すべてのリポジトリやコンテンツを対象にした検索ができない。



### セキュリティ

**65%**

ガバナンスの変革と刷新を担当する CIO の割合

#### 課題

安全なストレージ、権限管理、認証、承認の欠如。



### 正確性

**30%**

コンテンツの欠損や誤り、手作業による操作に苦労している従業員の割合

#### 課題

ファイルの重複、バージョン管理の問題、大量の検索結果、不正確な情報。

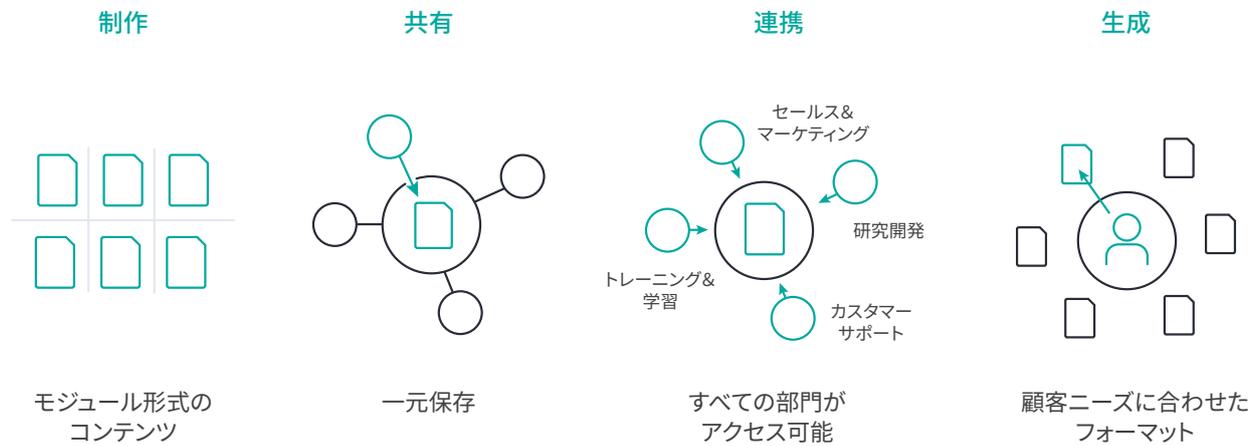
出典：IDC Technology Spotlight (2019) 「The Future of Knowledge Management: Agile, Governed & AI-Ready Componentized Content Services」 (知識管理の未来：俊敏性と管理性を備え、AI 対応が可能なコンポーネント化されたコンテンツサービス)



## コンポーネントコンテンツ管理システム (CCMS) のメリット

Tridion は、構造化された短文の情報の作成、共同作業、翻訳、配信に役立ちます。コンポーネントコンテンツ管理システム (CCMS) として、コンテンツをドキュメントやファイルレベルではなく、個々のトピック (コンポーネント) に基づいて管理します。

コンポーネントベースのアプローチを採用すると、ドキュメントの枠組みから脱却でき、マイクロコンテンツやチャット、IoT アプリケーションなどのコンテンツの使用と配信において新たなチャンスが生まれます。



## 企業ナレッジHubとしての Tridion

Tridion は、ルール、ポリシー、手続き、製品情報などのビジネスに不可欠な情報の管理と提供を広範囲に多言語で行っている場合に役立ちます。

### 企業ナレッジHubの構築

ドキュメントベースのコンテンツ管理や企業知識の管理に使用されることの多いファイルシステムとは異なり、Tridion は、コンテンツの制作、レビュー、翻訳、配信に至る全工程でコンテンツを管理する新たな方法として、一元化されたインテリジェントなナレッジHubの役割を果たします。

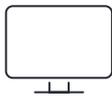
この安全なデジタル主導型のコンテンツアプローチは、分断された組織間の橋渡し役となります。組織全体から情報を取り込み、どこからでも情報にアクセスできるようになります。また、すべてのコンテンツにタグが付けられ、ドキュメント間の串刺し検索や動的な生成も可能になり、コンテンツを最大限に再利用できます。

### 組織の内外

顧客や同僚と安全かつシームレスに連携できます。パートナー向けコンテンツが1か所にまとめられ、パートナーには必要なコンテンツとアクセス権のみが付与されます。また、ガバナンスと追跡により、詳細なセキュリティ設定が企業の情報管理に統合されます。

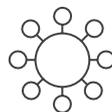
### AI 対応の準備

AI サービスと認知サービスを利用可能にすれば、より高度なビジネスインサイトを導き出し、組織におけるデータやコンテンツの取り扱い方を変革することができます。構造化コンテンツをメタデータで強化することで、常にコンテンツリストに応じたコンテンツをユーザーに配信できます。



#### ビジネスに不可欠な情報

情報の再利用やガバナンスのための「信頼できる唯一の情報源」



#### 連携

イントラネットやエクストラネットを介した連携のためのナレッジHub

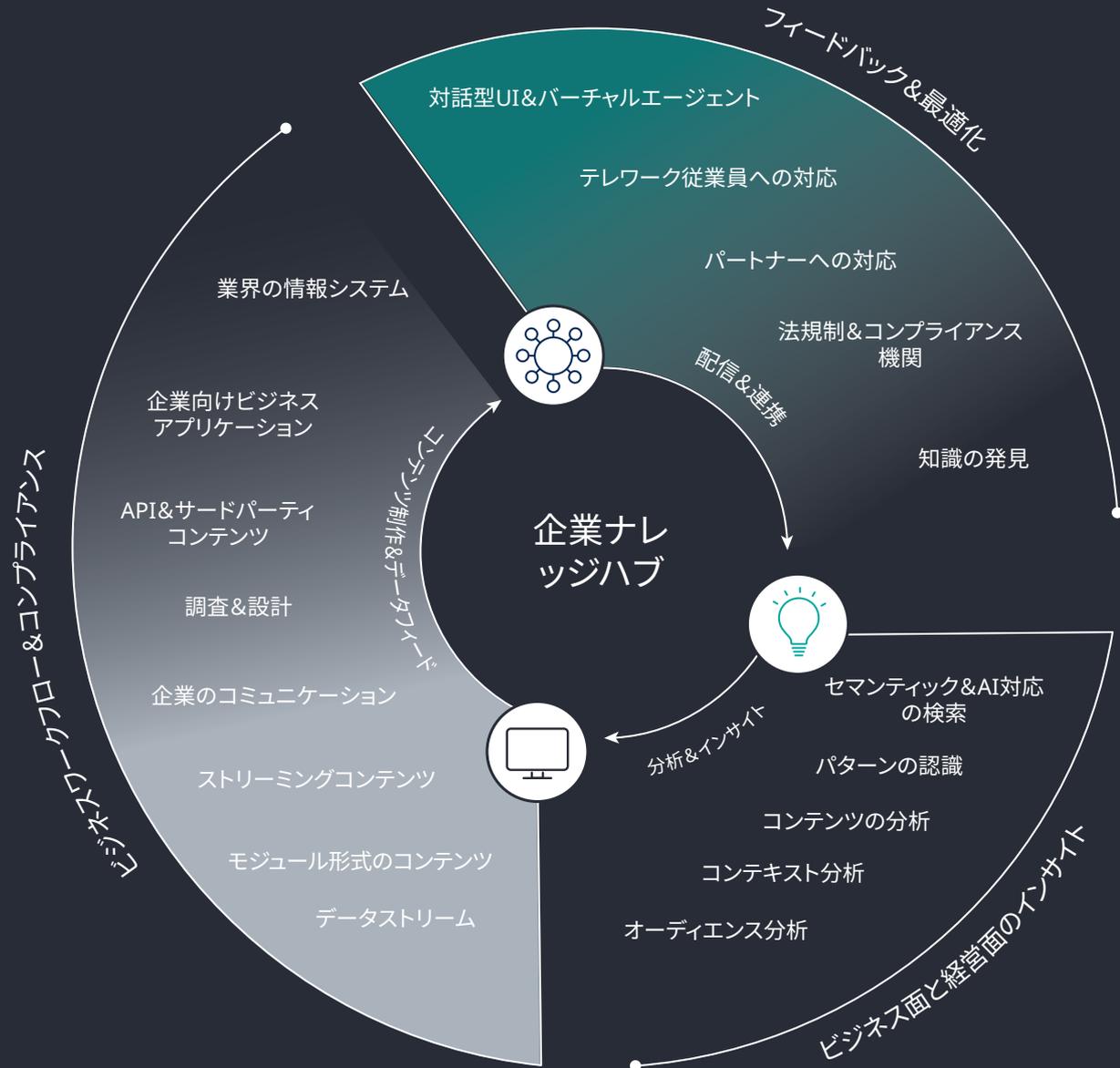


#### 分析

データ主導型のビジネスインサイトと情報検出

- 知識管理を一元化
- 特定のユーザーやニーズに合わせたコンテンツを作成
- 形式やデバイスの種類を問わず、単一ソースコンテンツを配信
- 法規制コンプライアンスをサポート
- 多言語のコンテンツを管理・配信

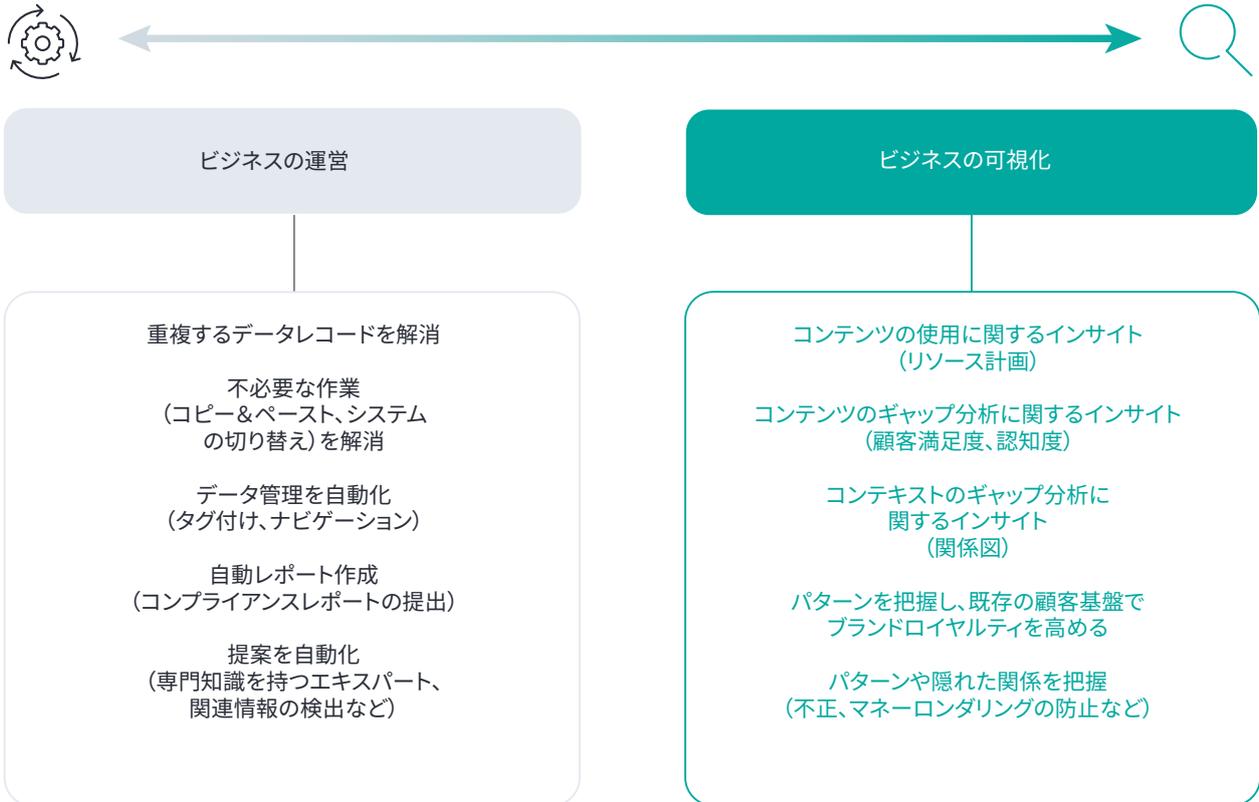
# つながった企業を構築



## 生産性の向上とインサイトの獲得

企業ナレッジハブは、業務を効率化し、従業員の効率性を向上させて、生産性を高めます。また、インサイトを明らかにして新たなビジネスチャンスを見つけ出し、企業が活用できるようにします。

シナリオとメリット



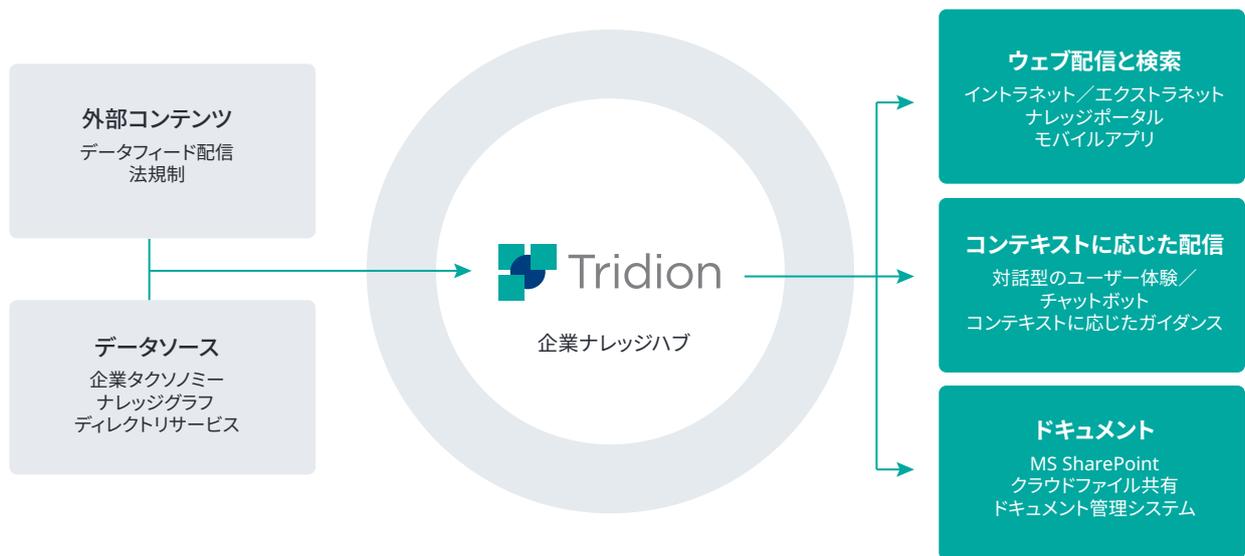
企業ナレッジハブにより、イントラネット、エクストラネット、顧客サポートプラットフォームなどのさまざまなユースケースを補強できます。イントラネットを企業ナレッジハブで強化すれば、従業員が関連性のある情報を、タイミングよく実用的な方法で利用できます。全従業員が共通した方法で作業できるので、社内外でワークフローが妨げられることはありません。

未来のイントラネット - 従業員とパートナーの両方が利用でき、技術革新に対応

最新の専門イントラネットにより、コンテキストに応じた関連性の高い情報を、従業員のプロフィールやニーズに合わせて瞬時にパーソナライズして提示できます。従業員は、あらゆるデジタルタッチポイントで、手作業の修正が不要で実用的な情報を受け取ることができます。信頼できる唯一の情報源があると、組織の情報の信頼性が増し、生産性の向上やビジネスの成長が進みます。

このようなイントラネットは、基本的な社内コミュニケーションや投票ボタンを超えた、より充実した従業員体験を実現します。さまざまなデータストリーム、ビジネスアプリケーション、ワークフローシステムに組織が接続して、情報を利用する多様なチャネル（ウェブサイト、アプリケーション、マイクロアプリ、対話型 UI、インテリジェントエージェント、AR / VR、音声インターフェイスなど）に情報を供給できます。組み込まれているフィードバックメカニズムを利用すれば、運用や情報の質を継続的に向上させることもできます。

Tridion を使用することで、社内や外出先、あるいは現場でも、従業員エンゲージメントを大幅に高められます。

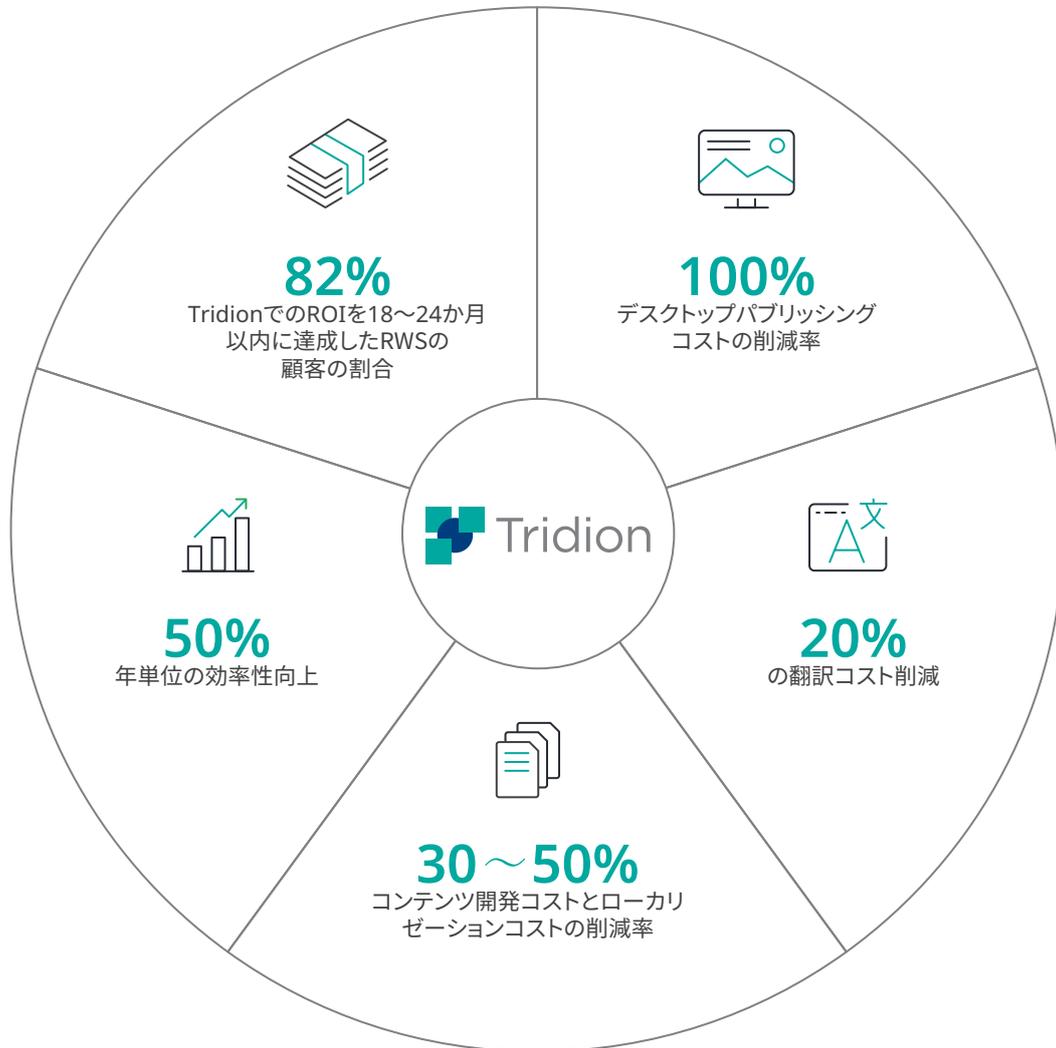


## 実績のある成熟したテクノロジー

Tridion を導入されたお客様の業種は、金融サービス、ライフサイエンス、法律、ビジネスサービス、コンサルティング、自動車、製造、ハイテクと多岐にわたります。このようなお客様は、情報へのアクセスを一元管理し、販売サイクルの効率化、顧客満足度の向上、市場投入までの期間の短縮を達成しています。

- 企業ナレッジハブ
- コンテンツの検索がより容易に
- 迅速に変化するコンテンツの管理性が向上
- 再利用や構造化により一貫性が向上
- 自動化や一元化により全体的な運用コストを削減
- AI 主導による自動化の基盤





詳細はこちら

[rws.com/jp/tridion](https://rws.com/jp/tridion)

**RWSについて**

RWS Holdings plcは、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWSは、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々につながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位100社のうちの90社、製薬会社上位10社、世界中の大手特許事務所20社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958年に設立されたRWSは、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp](https://www.rws.com/jp)をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\*の機密情報および専有情報とみなされます。

\* RWS Groupとは、RWS Holdings PLCおよびその関連会社および子会社の代表を意味します。